

## 地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護  
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護  
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 20年 11月 28日
事業所名	グループホーム ひだまりの家
事業所番号	2374500599
記入者名	職名 管理者 氏名 日比 賢一郎
連絡先電話番号	0561-53-8700
	2F やすら樹 ユニット

(様式1)

## 自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>基本理念[我が家のようにくつろげる、やすらぎのある生活を支援する]ユニット理念1F[くつろぎ]2F[やすらぎ]ユニット名1F[くつろ樹]2F[やすら樹]基本理念とユニット理念が共通点を持ち、職員会議など理念を繰り返し、常日頃から職員が理念を意識しながら実践できる様に取り組んでいます。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>ご家族様には入所の際、説明しており、また家族会においても理念を念頭にケアを行っている事を伝えていきます。近隣住民の方には、啓発用のパンフレットを作成し理解を求めています。</p>	<p>近隣住民の方にはパンフレットを作成し理解を求めています。まだまだ不十分と考えられます。更にいろいろなテーマを考え、パンフレットを作成しもっと深く理解して頂けるよう地域への広報活動の実施に取り組んでいきたいと思ひます。</p>
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>散歩時、畑仕事の際など挨拶や声かけをしたり、地域の方のボランティアの受け入れをしたり、地域住民、老人会には広報にてお知らせはしましたが、訪問して頂くまでには至っていません。</p>	<p>今後は広報などにて、イベントや介護の相談、認知症についての講習会等を開催し、気軽に立ち寄って頂けるよう働きかけていきたいと思ひます。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域のイベント（運動会、子供会のイベント、どんど焼き等）利用者様に無理のない程度に極力参加しています。</p>	<p>自治会、老人会への参加は少ないので今後は、積極的に参加して行きたいと思ひます。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 事業所の力を活かした地域貢献  利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる	老人会に参加し、ホームの事を理解して頂き、近 隣や知人でお困りの方がいないか、気軽に相談し て頂けるように努めています。また、民生委員さ んを通して相談窓口として努めています。		働きかけはしているが、相談に訪れて頂くまで には至っていない。今後も働きかけて行きたいと 思います。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7 評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び 外部評価を実施する意義を理解し、評価を 活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価の結果を職員会議にて検討 し、改善されている点もあるが、課題もある。		昨年よりは改善されてはいるが、課題もありまだ 十分とは言えない。改善されている点も含め今後 も検討し質の向上に努めて行きたいと思いを ます。
8 運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	市役所職員、民生委員、ご家族様、老人会など の意見を聞き、職員間にて検討し質の良いサー ビスや安心して暮らせる空間作りに努めていま すが、十分とは言えない。		運営推進会議を通して地域への交わり、また利 用者様のサービス、質の向上に向けて会議内容 を考え、活かして行きたいと思いを ます。
9 市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	運営推進会議や市役所に行き来し話し合いの機 会はあるものの情報交換の場で、サービスの質 の向上には繋がっているとは考えにくい。		サービスの質の向上に向けて市役所職員の方と 話し合い具体的に目標を挙げ実践に繋げて行 きたいと思いを ます。
10 権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域権利擁護事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々 の必要性を関係者と話し合い、必要な人 にはそれらを活用できるよう支援している	1件の事例はあるが、利用者様、ご家族様の問 題と受け止め、管理者や職員は関与しておら ず、認識は薄いと考える。		市町村の連携により、地域権利擁護事業や成 年後見制度についての情報、講習会等に参 加して、支援できる体制を整えたいと思 いを ます。
11 虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅 や事業所内で虐待が見過ごされることが ないよう注意を払い、防止に努めている	職員会議などで話し合い、虐待が起こらな いよう常に常日頃から職員間でも声を掛 け合い未然に防げるように努めています。 また職員にストレスを貯めないよう に残業をさせず、十分な休みを 与えている。		セミナーや講習会等に積極的に参加し、今 後は活かして行きたいと思いを ます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>外部者へ表せる機会は設けておらず、今後はその機会を作り運営に反映させていきたいと思えます。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>		<p>職員の移動等については報告しておらず、書面もしくは口答にてお伝えしていきたいと思えます。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	常日頃から職員間との信頼関係を作り、やる気や意欲を引き出せるように努め、離職を最小限に抑えられるよう心がけています。又ユニット間の移動も必要のない限り固定しています。		
<b>5.人材の育成と支援</b>			
19 職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の経験などにより、研修参加の取り組みを行い、ミーティングなどにて発表の場を作っています。又個々のスキルアップの為、要望があれば、勤務調整も行っています。		まだまだ十分とは言えず、今後も研修等に参加してスキルアップして行きたいと思います。
20 同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者施設の見学、交流はありますが、回数は少なく、十分とは言えない状態です。又他施設への職員研修の話はありますが、実施にはいたっていません。		同業者との連絡を密に図り、研修などを実施しのレベルアップ、又情報交換の場を持てるようにして行きたいと思います。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	週40時間の勤務体制を取り、精神的にも肉体的にも十分に休暇が取れるようにしています。又職員の業務上の悩みなど、相談できるよう時々親睦会も開催しています。		
22 向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は定期的に管理者や職員との話し合いの場を持ち、実績や勤務状況を把握し、スキルアップの為の助言や方向性について話し合っています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居の際には、利用者様本人の思い、今までの生活、施設での生活での希望や不安など十分に聞き、安心して納得していただけるよう対応しています。又日頃から声掛けし、生活の中で不備や不安等が生じた場合も利用者様と一緒に考え、対応に努めています。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご家族様が現時点で困っている事、不安に思っている事を話し合い、ご家族様の不安を軽減、解消できる様に努めています。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者様、ご家族様の問題点や不安、悩み等を十分に聞き、他のサービスも含めた必要な助言ができるよう努めています。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入所の際に生活歴、趣味等をお聞きし、他の利用者様と共通点を見つけ、早く馴染んで頂けるように努めています。またしばらくは、職員が気を配り、利用者様に不安を抱かないように配慮しています。利用者様の状態に応じて、ご家族様に来所や電話のご協力もお願いしています。</p>	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>ユニット毎を一つの家族と念頭に置き、職員はユニットの勤務異動を最小限に留め、利用者様に馴染みのある存在となり信頼関係を築いています。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様が来所された際、又電話などで利用者様の暮らしぶりはもとより、他の情報や話などを共有し、信頼関係努めています。		すべての職員がご家族様との関係を友好的とは言えません。ご家族様の思いなどを、すべての職員が理解し友好的、関係を気付けるようにしていきたいと思います。
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族様、利用者様の生活歴などをお聞きし、関係度を十分把握して、ご家族様の来所、外出、外泊などご家族様との関係を維持できるように支援しています。またいつでも電話や手紙などのやり取りもできるように対応しています。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域密着として地域住民を受け入れ、今までの生活で馴染みの場所（自宅、お墓、美容院、病院、歯科など）柔軟に対応しています。また友人、知人の来所にもゆっくりとくつろいでいただけるように配慮しています。		すべての利用者様に支援することがなかなか難し為、今後は少しずつ、多くの利用者様に実現して行けるように努めて行きます。
31 利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様の性格、生活歴などを把握し、気心許せる関係を築き、共に支え合い、助け合える様に支援しています。		
32 関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約の終了時には、いつでも気軽に立ち寄って頂ける様、また相談事があれば気兼ねなく連絡をして下さいとお伝えしています。契約終了されたご家族様が遊びに来られたり、知人の方を紹介していただいたりもあります。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1.一人ひとりの把握</b>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの思いや意向をお聞きし、希望に極力沿えるよう援助をしています。困難な方は、性格や生活歴、精神状態を把握し、又ご家族様の希望などをお聞きして支援しています。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入所の際、利用者様やご家族様に生活歴や生活環境、趣味等をお聞きし、その人に合った生活が送れるように支援しています。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>心身状態を把握し、無理のないように、その人に合った出番や役割を見出し、残存機能の低下防止や日々の活力に努めています。</p>	
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>定期的なカンファレンスを開き利用者様やご家族様の意見、要望をお聞きし、管理者、計画作成担当者、職員と話し合いその人にあった介護計画を作成しています。</p>	<p>利用者様、ご家族様の意見を今以上にお聞きし、希望、意向を更に反映して行きたいと思います。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>期間に応じてカンファレンスを開き、見直しを行うと共に、状態変化時にも利用者やご家族様の意見、要望をお聞きし、管理者、計画作成担当者、職員と話し合い、介護計画の見直しをしています。</p>	



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38 個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録票に日々の暮らしぶり、状態、ニーズについての記録を記載してカンファレンスに活かし、検討して介護計画の見直しを行っています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者様、ご家族様の意見、要望をお聞きし、そのニーズに職員の個々の能力、力量に合わせ、柔軟に対応しています。		
40 地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	定期的にボランティアには来所して頂き、活動して頂いています。又、介護相談員を受け入れ、利用者様の悩み、意見などの相談にも乗って頂いています。		利用者様の意向をお聞きし、地域資源の協働に努めて行きたいと思えます。
41 他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域のケアマネジャーやサービス事業者との話し合いには至っていない。		利用者様、ご家族様の意見、要望をお聞きし、必要に応じて他のサービスが利用できるように地域のケアマネジャーやサービス事業者との話し合いを設け、対応できる様に支援して行きたいと思えます。
42 地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターからの入居問い合わせなどはあるものの、ホーム利用者様の協働に対しては至っていません。		利用者様、ご家族様の意見、要望をお聞きし、必要に応じて長期的なマネジメントが行える様に、地域包括支援センターと協働して行けるように努めて行きたいと思えます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所の際、利用者様、ご家族様には協力医療機関の説明、ホームの方針に対しての協力医療機関の必要性を十分にお話しし納得して頂き、定期的受診、往診を受けて頂いています。又、今までの掛かり付けの医療機関をご希望される方には、ホームとご家族様の協力の下、安心して受診して頂いています。		
44 認知症の専門医等の受診支援  専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医療機関においては、認知症の受け入れも出来ており、利用者様の状態変化、症状など柔軟に対応して頂いて頂いています。又認知症の専門医療機関にも協力して頂き、受診、電話での対応、指示も頂けるように体制をとっています。		
45 看護職との協働  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	常勤勤務に看護師を配置し、利用者様の健康状態、精神状態を把握しており、職員がいつでも相談できる様に配慮しています。また協力医療機関の医師とも連携し、相談が出来る体制を整えています。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働  利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された際は、定期的に病院に行き、病院関係者、ご家族様から情報を得て、早期に退院出来る様に努めています。又退院時にはご家族様、医師と話し合い、ホームにての介護、看護がスムーズに出来る様、準備を整えてお迎えしています。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者様の状態に応じて、先々を予測し、早期の段階で利用者様、ご家族様、医師と十分に話し、方向性を見極め職員全員で方針を共有しています。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援  重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者様の終末期を迎える際、何度もご家族様、医師と話し合い利用者様にとって何が一番安心、安楽かを十分に検討し、チームとして支援しています。又ターミナルケアにおいては、ご家族様と十分話し合い、ご理解の下、安楽にて最期を迎えられる体制を整え、支援しています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	別の居所へ移られる際、ご家族様、受け入れ先職員とよく話し合い、情報交換をし、環境の変化によるダメージを最小限に抑えられるよう考え助言し、ご家族様に委ねています。	
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	利用者様ひとり一人の人格を尊重し、職員は声掛けや対応について十分に十分注意をし、職員間でもお互い声掛けを確認しながら配慮に努めています。記録簿については、漏洩しない様に、事務所にて保管、管理しています。	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	利用者様の状態に合わせ、本人の意思を尊重し、職員はさりげなく助言することにより、利用者様の考えを導き出し納得して生活が送れるように支援しています。	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	利用者様の希望など、極力重視し優先できるような配慮に努めていますが、毎日を利用者様全員に支援しているとは言えない。	全ての利用者様の希望に沿える様、満足のいく生活が送れるように支援して行きたいと思えます。
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	服装や身だしなみにおいては、出来る方は、ご自分で選んで頂き、難しい方は職員と一緒に選んでいます。定期的な訪問理容により、理髪をして頂いています。又、馴染みの美容院、理髪店を利用してみえる方もいます。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	業者の配入により毎日の献立、カロリー計算がされています。利用者様の好みの食材を取り込んで頂き、時には献立変更もして頂いています。又近くのスーパーに買い出しに行き、好みの食材の提供しています。利用様には無理のない程度の軽作業手伝って頂いています。		
55 本人の嗜好の支援  本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者様と一緒に買い物に行き、好みの物を購入し日常生活が楽しめるように支援しています。又、TV、広告等にて通販も利用しています。利用者様の中には居室の中に冷蔵庫を設置し食材を保管されてみえる方もいます。又地域の宅配牛乳も利用されています。		
56 気持よい排泄の支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	利用者様の排泄リズムを知り、定期的なトイレ誘導によりトイレ内での自然な排泄が出来るように支援しています。状況に合わせて夜間はポータブルトイレを設置し、転倒の危険性、又オムツにならない様に支援しています。		
57 入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ユニット毎に入浴を行い、利用者様によって、午前と午後に分けて、入浴の時間にゆとりを設けています。がひとり一人の希望やタイミングに合わせているとは言えない。		利用者様の状況や希望、タイミングを聞き満足していただき楽しめる様に支援していきたいと思いをします。
58 安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者様の状態に応じて、リビング、和室空間、居室にて、気兼ねなく休んでいただいています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者様の性格、生活歴を知り、状況に応じて、その能力を發揮できる様、役割や出番を見出し、支援しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が出来る方はご自分で管理して頂き、難しい方は管理者が管理しています。金銭預かり書を作成し記録に残しています。職員は利用者様本人が支払いをする事を重視し心がけています。		金銭管理が難しい利用者様にも、買い物の際には、利用者本人に支払いをして頂けるように支援して行きたいと思います。
61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	定期的散歩、ドライブ、喫茶店、買い物、その日の天候、状態に応じて希望をお聞きし、外出しています。		外出頻度、外出範囲を増やして行きたいと思いません。
62	普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別においては、自宅、墓参り、美容院、懐かしの場所などお連れしています。年間行事として、花見、春秋の遠足などご家族様と共に外出の場を設けています。		
63	電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご自分で電話をかけられる方は自由に使用して頂き、困難な方は、職員がお繋ぎしてご家族様、友人、知人の方と関係に支援しています。必要に応じて手紙やハガキを用意し、やり取りをされています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	職員一同、来所者の方には、笑顔で迎え、訪問の際には気兼ねの無いよう、おもてなしをし、居室や共同スペースにてのんびり過ごして頂けるように心がけています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者様の身体の状況により、出来る限り危険性や負担の無い様に自由に安心、安全、に生活が送れるように日々考え努めています。又、ミーティングにおいても職員間で話し合い、身体拘束の意義を理解し、排除に向けての取り組みを行っています。		現在一名の入居者様に対して、生命及び身体が危険にさらされる為、やむを得ず、ご家族様の了承のもと身体拘束を実施させていただいていますが、本人様の心身の状態など定期的にカンファレンスを開き、生命、身体の安全を念頭に置いた上で、拘束ゼロを目指しています。


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員一同、施錠の弊害を理解し日中は玄関扉は全面開放し圧迫感のない様に配慮に努めています。		2F やすら樹ユニットにおいては、利用者様の精神状態により、階段からの転落の危険性がある時は、階段扉の施錠を行う場合もあるので、職員が利用者様を見守る事で施錠をしない様に努めて行きたいと思います。
67 利用者の安全確認  職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常日頃から職員は利用者様の居場所や行動を観察し、いつでも事故が起きない様に注意を払い見守りに徹しています。		
68 注意の必要な物品の保管・管理  注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬品、洗剤等の在庫は倉庫に保管し必要最低限の物は所定の場所に置き、在庫の確認をしています。利用者様の能力に合わせてお使い頂いています。又、キッチンの物品等は、職員が見守りしながらお使い頂いています。		
69 事故防止のための取り組み  転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	常日頃から利用者様の居場所や行動を観察し見守りをする事により事前に事故を防げるように努めています。行方不明になった場合の為に利用者様の顔写真、生年月日、連絡先を記入したカードを作成し対応できる様にしています。年に2回火災、災害の為に避難訓練も実施しています。		
70 急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	看護師や救命訓練を受けた職員を中心に年1～2回応急手当のデモンストレーションを行い職員全員が対応できる様に努めています。又、マニュアルを見やすい所に掲示してあります。		
71 災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、避難訓練を行い、災害時に速やかに避難できる様に心がけています。夜間を想定した訓練も行い、緊急連絡において職員が駆けつけれる様に配慮しています。又外部セキュリティーと連携し防火設備点検も行っています。近隣住民の方に広報を出し協力を得られる様に努めています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	利用者様の状態変化等、今後の状態を予測し、メリット、デメリットをご家族様に事前に相談をし、利用者様にとって一番安心、安全、安楽な方向性を考え対応策を検討しています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝、夜勤者からの申し送りをし、情報を得ると共にバイタルチェック、日々の観察により利用者様の状態変化に速やかに気づく様心がけています。又、ご家族様、医師にも相談し対応しています。		
74 服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師を中心に、薬の管理を行い利用者様の状態変化によって処方された新しい薬等は連絡帳に記載し職員全員が分かるようにしています。その情報を基に観察する事により、副作用による変化等も早期発見に繋がると考えます。		
75 便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	看護師を中心に、排便表を作成し常に利用者様の状態を把握しています。ミーティングにて便秘の及ぼす危険性等も話し合い職員間で理解しています。朝、夕の水分補給も行い自然な排便を促していますが、便秘が続く様であれば、看護師の指示により、薬にて対応しています。		
76 口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアの重要性を把握し、毎食後、ひとり一人に合った口腔ケアを促し、口の中の汚れや臭いが生じない様に支援しています。		
77 栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材業者の献立により、カロリー計算され栄養バランスにおいては確保されています。又、利用者様の状態に合わせ時間をずらした介助したり、極力摂取していただける様に配慮しています。朝、夕、食事の合間にも水分補給の時間を作り、夜間においても利用者様に合わせて補給して頂いています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	職員全員が感染症に対しての知識を知り、又、感染症マニュアルにおいて更に認識を高め、日々の生活から予防しています。利用者様、職員が年に1度、健康診断、インフルエンザの予防接種を受けています。日常から手洗い、うがいの徹底を行うと共に、来所される方にも手の消毒等の協力もお願いしています。		
79	食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は毎日新鮮な材料を業者に配達して頂き、調理器具、食器類は徹底して消毒をし衛生管理に努めています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには花壇を設置し、四季折々の花を植えて季節を感じられる様にし、玄関横にはメダカを飼っています。敷地内には畑があり、家庭的な雰囲気作りに努めています。		
81	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間にはいつも清潔を保ち、利用者様の危険が無い様配慮すると共に、過ごしやすい空間の提供に心がけています。リビングは南向きで明るく、光の調節を行っています。玄関先、食卓には四季折々の花を飾って季節感を演出しています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはくつろいで頂けるソファがあり、和室、玄関先のベンチ、南側のウッドデッキ等、ご自由にお使い頂いています。		



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	利用者様、ご家族様には、居室を自由にお使い頂 いており、今までの馴染みの家具、調度品も、お 持ちいただき、居室にてくつろげる空間確保に努 めています。		
84	換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	空調設備、換気設備により、快適に過ごして頂け るよう配慮に努めています。居室内においても夜 間快適に安眠して頂ける様、タイマーにより温度 調整を行っています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	全館バリアフリーになっており、フロアートイ レ、浴室、廊下、E V等には手すりがついてお り、又車椅子、シルバーカーの移動にも十分な広 さを確保してあります。		
86	わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	利用者のひとり一人の状態や、能力を把握し、そ の人に合った声掛け、誘導を行い、混乱や失敗の ない様に配慮しています。又失敗があってもさり げない声掛け、対応にて本人の自尊心を損なわ ない様に心がけています。		
87	建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	天気の良い日は、ウッドデッキにてお茶を楽しん だり、玄関先にて談話をしたり、又畑や園芸をす る際は、玄関とウッドデッキよりスロープを使用 し、活動して頂いています。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと )
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

基本理念[ 我が家のようにくつろげる やすらぎのある生活を支援する ] を掲げ、ハード面では森に囲まれ、湖畔にあり、花壇や畑での栽培に季節を感じ、建物も全館